

【施策評価調査】

施策名	5-1-5	小学校における英会話学習の充実	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ	115	国際化に対応できる児童・生徒を育成する。
	担当部課	教育部こどもみらい課		担当	
環境変化			リーダー	小林 美香子	AET(英語指導助手)を継続的に配置し、児童が英語に慣れ親しむとともに、基礎的な英会話が習得できるよう努めます。また、英語を使つてのコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化体験活動を行うことにより、国際理解を深めます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：小学校における年間英会話学習時間数(時間)	平成16年度 396時間	計画	516時間	516時間	516時間	516時間	516時間
		実績	516時間	784時間	784時間		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	24,150,000	29,450,000	28,360,000		
	決算	24,150,000	25,995,951	24,250,000		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
AET事業費	当初 24,360,000 決算 24,150,000	外国語指導助手の年間授業回数 1~2年生 :15時間 / 1~2年生 :15時間 3~6年生 :35時間 / 3~6年生 :35時間	A	英語活動推進会議により検討した学習方法によってAETを利用して学習することができたが、学習内容定着度調査では点数が下がってしまったため更に検討しなければならない。			
				今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
小中学生海外滞在チャレンジ補助	当初 4,000,000 決算 100,000	申込生徒数 1人 / 40人	C	参加者が少ないことから見て、海外でホームステイを体験することで、英会話の充実が図れているか疑問であり、見直しの機会と思われる。			
				今後の方向性(自己評価)	廃止	今後の方向性(総合評価)	廃止
	当初 決算 /			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初 決算 /			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初 決算 /			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初 決算 /			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	英会話学習は、外国人から直接指導や会話を受けるなど、英語に慣れ親しむことで身につけていく。そのためには継続してAETを学校に派遣して英語に親しむ機会を提供することが必要である。	学習内容定着度調査で分かったように、英語の学力を向上させるために、さらに外国語指導助手の利用形態を研究し、充実した英語学習を実施したい。特に英会話でなく、英語の応用力を身につけるための学習が必要である。
総合評価	<p>■ 総合評価 ■</p> <p>継続的に施策展開されていると評価する。後期計画策定に向けて、施策展開を再精査し、教育委員会として施策の優先順位を見極め、どこに資源を集中していくべきか明確にすること。</p>	